第４学年１組　外国語活動学習指導案

指導者　教諭　直枝　祐樹（T1）

ALT　ラライン・イマムラ（T2）

４年１組教室

１　単元名　Let’s Try!　2　Unit4 What time is it　?

２　単元について

1. 単元観

本単元は、外国語（英語）を使って自分の日課やその時刻を話す、友達の日課や時刻を聞く等の活動を通して、友達と外国語（英語）を使ってコミュニケーションを図ることの楽しさや嬉しさを感じさせることを目標にしている。

　　　　一日の生活を題材に、どんな一日を過ごしているのか、また、一日の中で一番好きな時刻はいつかなどを伝え合うことで、これまで知らなかった友達の一面に出会い、自分のことも知ってもらうきっかけになる単元構成になっている。友達について詳しく知っているようだけど、家での過ごし方と時刻については普段の生活では知ることはない。その点でまだ知らない友達の一面を見ることもでき、新鮮である。加えて、時刻と日課を聞く活動を行うなかで、日本と諸外国には「時差」があり、同じ７時でも日中であったり、夜であったりすることに気付かせ、それに伴って日課も異なってくることを考えさせることができる。

　　　　本単元の〔聞くこと〕では、時刻と日課を結びつける活動を中心に行う。そのため、１～１２の数字の言い方や日課の言い方に十分に慣れ親しむ必要がある。また、午前（AM）と午後（PM）の伝え方にも触れ、外国語（英語）での時刻の尋ね方や答え方に慣れ親しませたい。

　　　　本単元は５年生外国語科教科書「NEW HORIZON」の「Unit３　What do you want to study？ 」「Unit６　What　would you like？」で自分の好きなことや学習、食べたい物を伝える学習につながっていくと考える。そのために、「I　like～」、「It’s～」の基本表現を十分に聞かせ、慣れ親しませていきたい。

３　関係する領域別目標

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | イ　ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味がわかるようにする。 |
| 話すこと（やりとり） | イ　自分のことや身の回りのものについて、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 |

４　単元の目標

　世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、自分の好きな時間や相手の好きな時間を伝え合うために、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。

４　単元の評価規準　※太枠のみ記録に残す評価を行う。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 聞くこと | 　時間を尋ねたり答えたりする言い方「What time is it？」「It’s～」などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 | 聞いた時刻や日課からその時間が午前なのか午後なのかの意味がわかっている。 | 聞いた時刻や日課からその時刻が午前なのか午後なのか意味を理解しようとしている。 |
| 話すこと（やりとり） | 時間を尋ねたり答えたりする言い方「What time is it？」「It’s～」などの表現のやりとりに慣れ親しんでいる。 | 好きな時間や日課について進んで尋ねたり答えたりしている。 | 好きな時間や日課について進んで尋ねたり答えたりしようとしている。 |

５　指導と評価の計画（４時間扱い）※□は評価を行う。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時数 | 主な学習活動 | 評　　　　価 |
| 知技 | 思判表 | 主態 | 評価規準（評価方法） |
| 1 | 時刻を表す表現を聞く活動をとおして、時刻の尋ね方答え方に慣れ親しむ。 |
| ・単元のゴール（気に入っている時刻とその理由を話すこと）を知り、学習の見通しをもつ。単元のゴール：お気に入りの時刻と理由を伝え合おう目標：時刻のたずね方答え方を知ろう・「What time is it ?」の基本的表現方法と答え方、時刻の表し方を聞く活動を通して表現方法に慣れ親しむ。・チャンツを聞き、リズムにのって基本表現に慣れ親しむ。・映像を見て、時刻と日課を線でつなぐ。・巻末のカードを使ったゲームを行う。 | 聞 |  |  | ※本時は記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導する。知識・技能　時間を尋ねたり答えたりする言い方「What time is it？」「It’s～」などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 |
| 2 | 時刻を表す表現を聞く活動をとおして、時刻の尋ね方答え方に慣れ親しむ。 |
| ・映像を見て、世界の国々の時刻と日課を線で結ぶ。・時刻を表すリスニングを聞いて、日課と時刻を線で結びつける。目標：世界の時刻と日課を聞き取ろう | 聞 |  |  | 知識・技能　時間を尋ねたり答えたりする言い方「What time is it？」「It’s～」などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 |
| 3 | 自分の好きな時刻や日課について尋ねたり答えたりする。 |
| ・自分の好きな時刻と日課を伝え合う。目標：お気に入りの時刻や日課を伝え合おう | や | や |  | ※思考・判断・表現については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導する。知識・技能・時間を尋ねたり答えたりする言い方「What time is it？」「It’s～」などの表現のやりとりに慣れ親しんでいる。 |
| 時数 | 主な学習活動 | 評　　価 |
| 知技 | 思判表 | 主態 | 評価規準（評価方法） |
| 4　本時 | 目標：お気に入りの時刻とその理由を伝え合おう。・自分の好きな時刻と日課、その理由を整理し、伝え合う。 |  | や |  | 思考・判断・表現・好きな時間や日課について進んで尋ねたり答えたりしている。 |
|  |  |  |  |  |  |

６　本時の指導（４／４）

1. 目標 好きな時間や日課について進んで尋ねたり答えたりしている。

話すこと（やり取り）〔思考・判断・表現〕

（２）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時配 | 主な学習活動 | 支援（○）と評価（●） | 資料等 |
| HRT(T1) | ALT(T2) |
| ５３３６２８３８ ３３１ | ○GreetingsHRT・ALTとあいさつをする。Let’s start our English class !・How are you?・How’s the weather?・What day is it today?○クラスの児童４名とGreetings Communicationを行う。○Let’s Chant P.15[What time is it ?]○Small TalkALT:Hello.How are you?HRT：Good!How about you?ALT: Great!HRT: Nice.*Rarain*.ALT: I like 6 a.mHRT: Why?ALT: I like break fast time .　　 I like egg.How about you?HRT: I like 6 P.MALT: Why?HRT: I like bath time.I like my new shampoo.ALT: Nice!HRT:See you.○今日の学習のめあての確認をして学習の見通しをもつ。※Today’s Pointお気に入りの時刻とその理由を伝え合おう。ワークシートに自分の好きな時刻と気に入っている理由を書く。お気に入りの時刻とその理由をとなりの友達に伝える。お気に入りの時刻とその理由をクラス３名に伝え合う。代表児童とALTが好きな時刻とその理由を発表し合う。○振り返り・振り返りシートの記入・わかったこと、学んだことを発表する。○GreetingsLet’s finish our English class ! | ○日直に号令をかけるよう促す。○進んで英語を使って友達やALTとコミュニケーションをとるよう促す。○自ら進んで英語を話せるように英語で今日の気分を聞く。○発音が難しいところを取り上げてALTに発音してもらう。○時刻の表し方をチャンツを行いながら理解させる。○児童がスムーズに活動に移れるように、英語を使って活動内容を説明する。○本時の学習の見通しを持つことができるように、ALTとコミュニケーションのやりとりの例を見せる。○英語を使って発表することに抵抗感がある児童には、時刻のみ英語で伝え、理由は日本語で伝えるよう促す。○座ったままとなりの友達と交流することで英語で話す抵抗感を徐々になくしていくようにする。●好きな時間や日課について進んで尋ねたり答えたりしている。話すこと（話すことやりとり）〔思考・判断・表現〕○前に出て発表していない児童は、注意深く聞き取るよう促す。○本時の中で何が分かり、何ができるようになったのかという視点で振り返りを行わせる。○日直にあいさつの指示を出す。 | ○HRT・児童とあいさつをする。○児童に適切な発音が理解できるようゆっくり丁寧に発音する。○児童に進んで関わりあいながら発音を確認する。○リズムに合わせて歌うのが難しいところや発音が難しいところは、ゆっくり発音し児童が理解できるようにする。○HRTと児童の見本となるコミュニケーションの例を提示する。児童が発音を理解しやすいように丁寧に発音する。○Small talk中の反応はジャスチャーも入れて児童に分かりやすい反応例を示す。○机間指導を行い、適宜児童の質問や児童の様子を確認する。○児童が基本的な表現の発音や友達の内容を聞いての反応ができているのか机間指導をして確認をする。○机間指導を行い、活動が早い児童と会話の練習を行う。○児童と一緒に活動し、発音や反応例を確認する。○代表児童と一緒にコミュニケーションをとり、できていたことを賞賛する。 | デジタル教科書・タブレット・プロジェクター・既習事項をまとめた掲示物・応答例をまとめた掲示物 |

（３）板書計画

Greeting

反応

理由を聞く

好きな時刻

Greeting

お気に入りの時刻とその理由を伝え合おう。

Example Reaction

Today’s Point

picture

card

picture

card

picture

card

picture

card　picture

picture

card

picture

card